

「JEITA 環境フォーラム 2015」開催報告

～持続可能な未来を築く環境革命！～

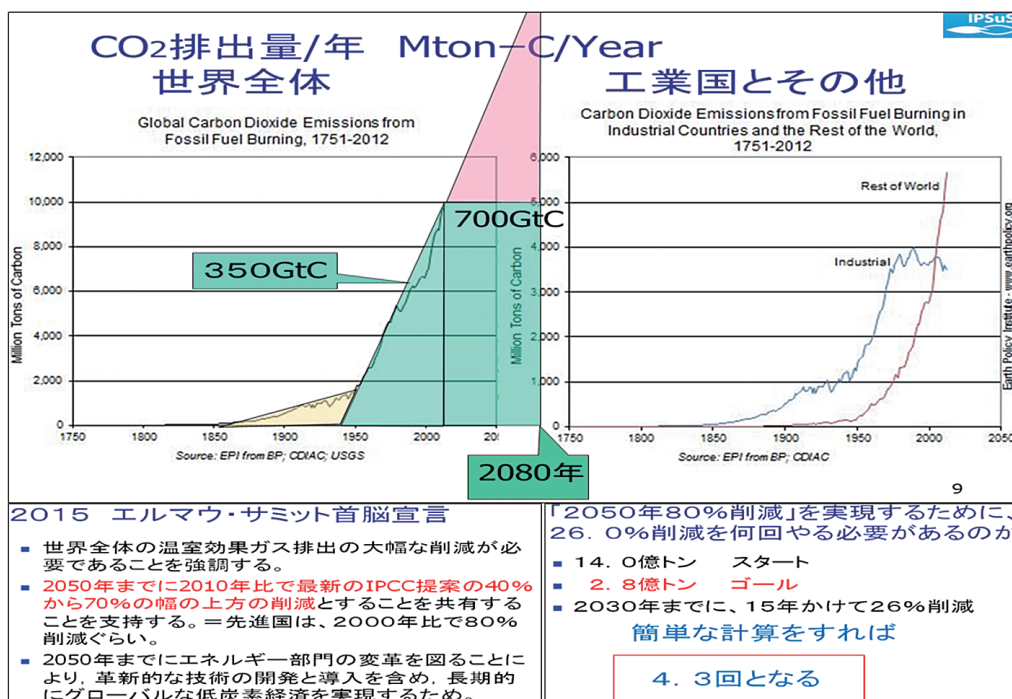
地球を取り巻く環境問題は課題が山積しており、地球温暖化防止に向けた取り組みをはじめ、循環型社会及び自然共生社会の構築に向けて国際的枠組みの中で様々な検討・対策が行われているところですが、持続的な人類の未来を築いていくために、企業活動における社会的責任は益々大きくなっています。このような中、JEITA環境委員会・環境推進委員会では、関連機関、関連団体とも協力しながら、温暖化防止に向けた取り組み、各国の環境規制対応等、環境問題に対する活動を積極的に推進しております。今回は環境委員会・環境推進委員会主催で、CEATECに合わせて10月9日に一般公開のフォーラムとして開催し約130名の参加がありました。豊かな未来を築くための多様な技術やイノベーションの行方を、様々な分野で活躍されている有識者のご講演を通じて共有するとともに議論を深めました。

人類と地球の関係が変わる 21 世紀 ―エネルギーイノベーションの予測―

講師：安井 至 氏 一般財団法人持続性推進機構・理事長、独立行政法人製品評価技術基盤機構名誉顧問、東京大学名誉教授

概要：「地球は十分大きいから、人類の活動によって地球環境が壊れることはない」、これが米国保守派の考え方でした。しかし、カリフォルニア州のひどい旱魃などに

よって、21世紀の後半には、化石燃料から離脱すべきとの考えに変わっています。21世紀のエネルギー革命の実態はどのようなものか、日本国内において、どのようなイノベーションがもっとも重要であるかなど、具体例を示し講演していただきました。



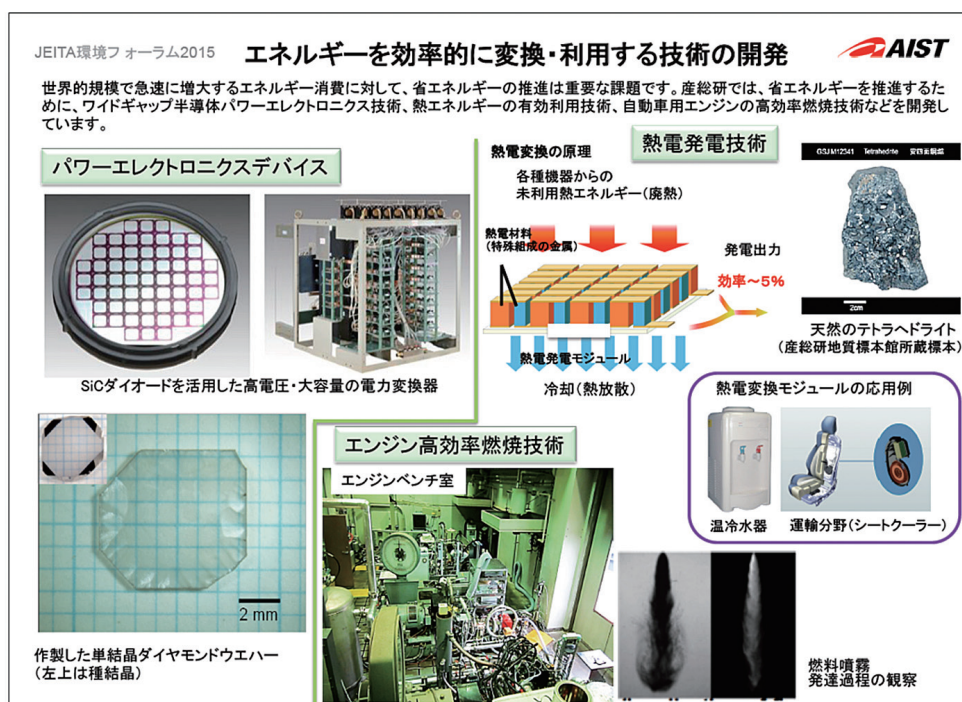
エネルギー・環境問題の解決に向けた産総研の取り組み

講師：小原 春彦 氏 国立研究開発法人産業技術総合研究所

エネルギー・環境領域研究戦略部研究戦略部長

概要：エネルギー・環境問題の解決に向けて産総研では、温室効果ガスの排出量削減を実現する再生可能エネルギーなどの新エネルギーの導入を促進する技術（創エネルギー）、エネルギーを高密度で貯蔵する技術

（蓄エネルギー）、エネルギーを効率的に変換・利用する技術（省エネルギー）、エネルギー資源を有効利用する技術、環境リスクを評価・低減する技術の開発を進めています。講演では産総研で取り組んでいるこれらの研究開発、特に省エネルギー技術関連についても紹介していただきました。

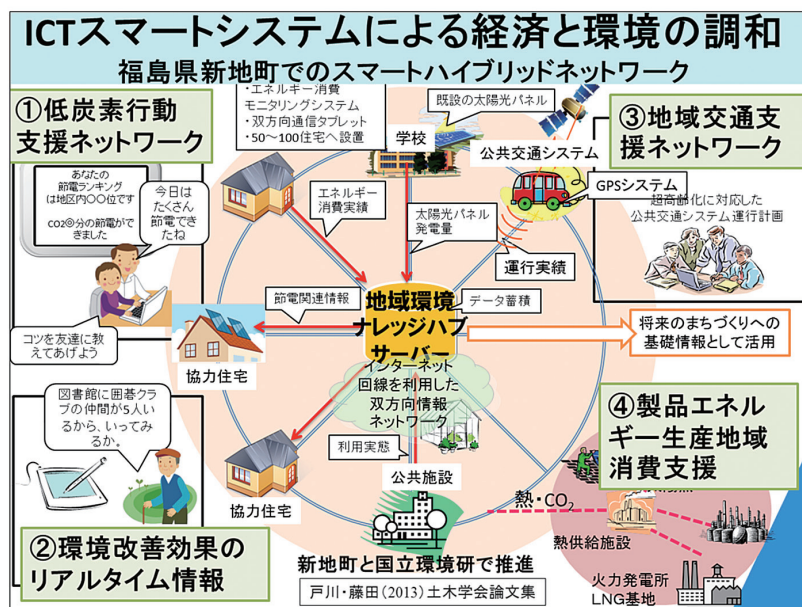


ICTソリューションを活用する環境都市のマネジメントへの期待 —新たな都市インフラとしてのICTシステム—

講師：藤田 壮 氏 国立研究開発法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター長

概要：人口減少などの課題に対応しつつ、低炭素化など環境への負担を低減する新たな都市の仕組みが求められています。スマートな環境都市システムを実現するための、環境と活動を計測して生産や消費に導入す

る環境技術と、実装後の効果をデータ化するシステム開発の紹介とともに、国立環境研究所で開発してきた社会環境の統合評価モデルや、環境評価手法等と連携して、21世紀の新たな都市インフラとしてICTシステムについて期待を紹介していただきました。



グリーンIT、Next Step ～サステナブルな未来を創る新たなグリーンIT～

講師：朽網 道德 氏 富士通株式会社 環境本部プリンシ
 パルテクノロジスト/JEITAグリーンIT委員会

概要：サステナブルな未来を実現する上で、グリーンITは益々重要になっています。日本におけるグリーンITの貢献量や具体的なソリューションについて、これまでに業界全体で検討されてきた。2020年、2030年に向

けて、IoT、CPS技術の進展により、グリーンITはさらに革新が進み、世界全体のグリーンイノベーションを牽引することが期待されます。未来のグリーンITという視点で、日本および富士通グループの事例を紹介していただきました。

